

2011年11月11日

【格付維持】

水資源機構

発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

国の基本計画に従って利根川などの7つの水系でダムや用水路を建設・管理する独立行政法人。ダムや用水路は公共性が高く、治水・利水の両面で重要な役割を担っており国の支援が見込める。格付は政府の支援能力に大きく支えられている半面、ソブリン信用力が低下すれば、その影響を受ける可能性がある。建設費用は国と利水者で負担するが、利水者のほとんどは地方自治体で、資金回収リスクは極めて小さい。事業スキーム上、金利リスクを抱えるが、利益剰余金が厚く十分な耐久力を備えている。格付の方向性は安定的。ただ、政府が利益剰余金の国庫返還を検討するように求めている点には注意が必要だ。

2010年9月以降、ダム事業の検証が始まった。機構が建設するダムも一部を除き、検証の対象になっている。その可能性は低いとみているが、機構のダム建設が中止となった場合、管理業務主体の法人への移行も早まることになる。いずれ管理業務主体の法人に移行する点は格付に一定程度織り込んでいるものの、政府は維持管理業務等の民間委託拡大等を求めている。民間委託がどの程度まで進むのか、その結果、政府との関係が変化しないのか—などの点を注視していく。利益剰余金の国庫返還問題の検討結果とともに、ダム事業政策の動向を見極めていく。

【格付対象】

発行者：水資源機構

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+ (維持)	安定的

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第2回水資源開発債券	130	2002年06月24日	2012年06月20日	AA+ (維持)
第3回水資源開発債券	130	2003年07月01日	2013年06月20日	AA+ (維持)
第1回水資源債券	150	2004年11月19日	2014年09月19日	AA+ (維持)
第3回水資源債券	100	2005年10月27日	2015年09月18日	AA+ (維持)
第6回水資源債券	90	2008年12月04日	2011年12月20日	AA+ (維持)
第7回水資源債券	70	2009年11月19日	2012年12月20日	AA+ (維持)
第8回水資源債券	105	2010年12月15日	2013年12月20日	AA+ (維持)

■お問合せ先 : インベスターズ・サービス本部 TEL. 03-3276-3511 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-3276-3438

株式会社 格付投資情報センター 〒103-0027東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	吉田 真
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	神林 尚

信用格付を付与した日	2011年11月04日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2011. 07. 27]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html>

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/index.html>

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html>

格付関係者	水資源機構
-------	-------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報	決算書類
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。
情報提供者	格付関係者

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

■お問合せ先 : インベスターズ・サービス本部 TEL. 03-3276-3511 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室（広報担当） TEL. 03-3276-3438

株式会社 格付投資情報センター 〒103-0027東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧ください。